

平成23年度 全国障害者スポーツ大会 区分判定研修会 参加報告

- 1 日時 平成23年6月18日(土)～19日(日)
- 2 会場 岐阜メモリアルセンター 本館会議室(岐阜市長良福光大野 2675-28)
- 3 主催 財団法人日本障害者スポーツ協会
- 4 協力 岐阜県障害者スポーツ協会、岐阜県障害者スポーツ指導者協議会
障害者スポーツ指導者協議会中部東海ブロック
- 5 内容 平成23年度競技規則変更点及び判定区分について
 - 1) 障害区分概論(肢体・視覚・内部)について
 - 2) 判定の実際(卓球、アーチェリー、水泳、陸上競技等)
 - 3) 事例検討及び質疑応答
- 6 参加者 39名(中・上級指導員の県障害者スポーツ協会やスポーツ施設職員が多数)
- 7 所感 今回の研修では、活発な議論や意見交換が数多く行われる中、日頃の勉強不足を痛感すると共に多くの気づきを得ることが出来ました。また、全国には高い志を持つ指導員の方が沢山いらっしゃる事を肌で感じ、大いに刺激を受けて帰って参りました。区分判定については、判定に必要な材料をいかにもっているか(競技規則集・解説集をしっかりと読み込む、そこに記載されている障害名・用語について把握する、選手の方の障害についての情報をきちんと把握する)で、ある程度は対応出来るのではないかと感じます。

今回の研修で、地域により県大会のエントリー方法に違いがあることと、兵庫県での課題に気付くことが出来ましたので以下に記載します。

<兵庫県のエントリー方法>

- | |
|-----------------------------------|
| ① 選手が市町村窓口(福祉課等)へ申込書を提出 |
| ② 各市町村は集まった申込書を県障害者スポーツ協会へ送る |
| ③ 県の障害者スポーツ協会は申込書を元に大会プログラムを作成する。 |

障害区分の
書き間違いに
気づきにくい

<とある県のエントリー方法>

- | |
|---|
| ① 選手は障害者スポーツセンターに申込書を提出 |
| ② 障害者スポーツセンター職員が障害区分が適切かどうかチェック |
| ③ 大会の前に、「区分チェック」スペースが設けられ、PTや指導員が判定を行い、エントリー間違いがあれば訂正して競技に臨む。 |

書き間違い
を発見しや
すい体制

今後求められるのは、選手が県大会に申し込む前に区分確認をすませられるようなスポーツの環境作りと、区分判定について選手や指導員・医療関係者が相談しあえるような場作り(個人の負担にならないようなチーム体制)ではないかと感じました。多くの判断材料を持ち、選手の方が公平に気持ち良く競技に参加できるよう、勉強と共有を重ねなければならないと感じています。

今回は、貴重な学びの機会を与您えて頂きましたことを心より感謝申し上げます。

ひょうご障害者スポーツ指導者協議会

平井 奈津子